



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



児童らが休館日の図書室を満喫

8月22日(火) 町生涯学習センター・図書室で夏休み特別企画「休館日の図書室へようこそ!」が開催され、町内外の小学生6人が参加しました。

子どもたちは、町図書室職員が行う絵本の読み聞かせや暗い場所ですわがび上がって見えるおもちゃ作り、牛乳パックで作ったドミノ倒しを楽しみました。

参加した田中悠太郎さん・琴葉さん(熊本市)は、「楽しかった。家に帰ってからも遊びました」と笑顔で話しました。

0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っ



▲ドミノに挑戦する子どもたち

ています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びつたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時

10月12日(木) 午前10時30分～

会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター・図書室内)

新着図書紹介

小説



木挽町のあだ討ち

永井 紗耶子 著/新潮社

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。炙り出される真相は…。第169回直木賞・第36回山本周五郎賞受賞作品。



獣の夜

森 絵都 著/朝日新聞出版

サプライズパーティを予定する女性、長期休暇中の中年男性、治らぬ歯痛を抱える女性会社員…。目の前にある日常が不意にぐらりと揺らぐ瞬間を、さわやかに、艶めかしく、ユーモラスに描き出す。心に刺さる全7編です。



青瓜不動 三島屋変調百物語九之続

宮部 みゆき 著/KADOKAWA

行く当てのない女たちのため土から生まれた不動明王。悲劇に見舞われた少女の執念が生んだ、家族を守る人形。恐ろしくもあたたかい百物語に心を動かされ、決意を固めた富次郎は岐路を迎える…。人気シリーズ最新刊です。

児童書



どんどんぱっ

いしかわ こうじ 作/KADOKAWA

たぬきさん、きょうはなににへんしんする? さあ、おなかをたたいて「どんどんぱっ!」。かけ声にあわせてたぬきさんが大変身。何に変身するかを当てたり、一緒におなかをたたいたり、楽しい読み聞かせのおすすめ絵本です。



住みたくない星ずかん

入澤 宣幸 著/創元社

地球以外の星に住んだらどうなる? 地球の常識では考えられないような「やばい星」が宇宙にはたくさんあるよ! 熱い鉄の雨が降る星、太陽が3つある星、超高速回転する星など60の星を紹介。星のことが楽しくわかる1冊。



ゆうやけにとけていく

ザ・キャビンカンパニー 作/小学館

ページをめくるたびに沈んでいく太陽を背景に、ジャングルジムの男の子、悔しくて石を蹴る女の子、買い物帰りの親子などが描かれ、それぞれの色々な感情を夕焼けが包み込んでゆく…。ゆっくり味わってほしい絵本です。

公民館 だより

●お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

▶自主文化事業のお知らせ

オータムコンサートを開催します

- 開催日時 10月19日(木) 午後6時30分
- 会場 町生涯学習センター・ホール
- 入場料 無料
- 出演 ヴァイオリン&ピアノデュオ ORANGEさん

令和5年度公民館自主講座 公民館自主講座に新規講座が開講



▲「木工教室」で子どもたちに木工技術を教える同講座の講師

甲佐町公民館では、公民館自主講座を開講しています。公民館自主講座とは、地域の皆さんが自主的に運営を行い、「出会い・ふれあい・学びあい」を大切に、身近な生涯学習の場として、活動していただく講座です。

心豊かで、うるおいのある充実した人生を送るためには、生涯にわたり学び続けること、絶えず新しい知識と技術を習得していただくことが大切です。

公民館自主講座は、手工芸教室、文化・教養などの5つのジャンルに分かれており、今年度から木工教室、EnglishTime、英語教室が加わり、全部で26の講座となりました。

自主講座へ参加を希望の人は、町公式ウェブサイトの『公民館自主講座のご紹介』をご確認いただき、受講料および材料費などの詳細は、各講座の講師へ直接お尋ねください。皆さんの受講をお待ちしています。

人権 心豊かに暮らすために

本町の教員らが人権問題について考える

令和5年度甲佐町学校人権教育部会研修会を開催

9月2日(土) 甲佐町生涯学習センター・ホールで、「令和5年度甲佐町就学前人権教育部会第1回研修会」が開催され、本町の教員など29人が参加しました。

第1部では、甲佐保育園からレポート報告があり、同園における子どもたちの人権に対するさまざまな支援や取り組みが紹介されました。その後、グループ討論が行われ、保育園や小学校あるいは行政などそれぞれの立場でレポートの内容を深く掘り下げたさまざまな意見が交わされました。

第2部では人権啓発DVD『多様性入門』の視聴しました。この作品は多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かし合うことだということをテーマに捉えた作品。

参加者からは、「自分の考えが普通と思わず、相手を受け入れる考えを認

めるということが大切だと思う」「子どもや保護者とこれまで細やかに関わって来られたことが伝わってきました。保護者からの信頼につながり、療育に結ぶことができたのだと思います。」などの意見がありました。

本研修は、甲佐町の人権教育推進のための良い機会となりました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447

(内線327)



▲グループに分かれて意見を交換し合う参加者たち